

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	G 企画・計画策定・調査研究事業
事務事業名	臨海部活性化推進事業（ベイエリア）			事業番号	017-057
担当部署名	建築都市	局	都心未来創造	部	ベイエリア推進担当

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③ベイエリアとの連携		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）		
		寄与するKPI	有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)

2	関連計画	「堺市基本計画2025」、「堺市都市計画マスタープラン」、「堺都心未来創造ビジョン」、「大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）」、「堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン（案）」、「堺臨海部再生・創造ビジョン」			
3	事業開始年度	平成 23 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	都市計画法、海岸法、港湾法			

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁			
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	対象者：臨海部を訪れる市民及び市外からの来訪者 対象地域：堺旧港、堺第7-3区、その他の臨海部	対象数	単位	
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	「堺市基本計画2025」や「堺市基本計画2025」に示す将来イメージの実現、大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）の推進に向け、堺駅・堺旧港や堺浜の活性化、魅力創出に向けた取組を進め、立地特性を活かした賑わいのある、憩える魅力ある海辺空間、交流拠点の形成を図る。			
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p><大阪広域ベイエリアまちづくり></p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪府、大阪市と連携のもと、大阪広域ベイエリア全体の活性化に向けた、将来像や取組の方向性等を示す大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）の取組を推進する。 <p><堺旧港></p> <ul style="list-style-type: none"> 堺旧港親水性護岸後背地への交流機能の導入など、堺駅・堺旧港周辺の活性化に向けたコンセプトや取組の方向性等を示す大阪広域ベイエリアまちづくりにおける、堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン（案）の取組を推進する。 			
9	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託業者			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標				
	ベイエリアの活性化				
	当該目標を設定した理由	ベイエリアの活性化が目的達成に寄与するため			
	目標に対する実績	堺旧港における交流空間創出に向けた社会実験の実施、交流機能導入に向けた検討			
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標
	大阪広域ベイエリアまちづくりの推進		令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン策定のため	大阪広域ベイエリアまちづくりビジョンの策定	ベイエリア活性化の取組（社会実験等）
		実績値	大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）とりまとめ	大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）の取組推進	
達成率	-	-			
	当該指標を選定した理由	大阪及び堺のベイエリアの活性化に向けた取組を推進するもの			
	目標値の設定根拠・算出方法	大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン作成・ビジョンに基づく取組推進			

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	臨海部活性化推進事業（ベイエリア）	事業番号	017-057
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	12,056	15,383	21,249	17,958	18,632
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
	一般財源	12,056	15,383	21,249	17,958
14 人件費 (b)	13,740	21,320	18,860	18,860	21,060
15 年間経費(c)=(a)+(b)	25,796	36,703	40,109	36,818	39,692

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源		
					R4	R5				
16 事業費内訳	ベイエリア活性化推進		R4	決算	17,950	17,950	R4	決算		
			R5	予算	17,594	17,594	R5	予算		
	旅費		R4	決算	8	8	R4	決算		
			R5	予算	31	31	R5	予算		
	消耗品費		R4	決算	0	0	R4	決算		
			R5	予算	7	7	R5	予算		
	手数料		R4	決算	0	0	R4	決算		
			R5	予算	1,000	1,000	R5	予算		
			R4	決算			R4	決算		
			R5	予算			R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		①	
②	上記①にかかる年間経費	千円	
③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 大阪広域ベイエリアまちづくりにおける堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン（案）に基づき、堺旧港親水性護岸とその後背地との一体的な利活用による交流機能の導入等に向けた事業スキームの検討、事業者サウンディングを行ったほか、エリアの可能性等の見える化や民間、地域、将来のエリアマネジメント促進に向けた機運醸成を図るための社会実験を実施する等大阪広域ベイエリアの活性化に向けた取組を行った。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 「堺グランドデザイン2040」や「堺市基本計画2025」に示す将来イメージの実現、大阪広域ベイエリアの活性化、堺旧港の海辺の特性を活かした居心地の良い交流空間の形成に向け、護岸後背地への交流機能導入等の事業検討を行い、また大阪府による舟運社会実験と連携しながら、海辺の交流空間創出の社会実験を実施し、当エリアの魅力の見える化、発信を行った。